

# 保育学科の先生からのおすすめ図書紹介

大嶽 さと子先生

誕生日を知らない女の子  
虐待—その後の子どもたち

黒川祥子

集英社

293 ページ

請求記号：369.4/469

鈴木 美枝子先生

行為の意味：  
青春前期のきみたちに

宮澤章二

ごま書房新社

183 ページ

請求記号：購入準備中

このところ新聞やテレビなどで、子どもの虐待についてのニュースがたびたび報道されています。ニュースを聞いて、みなさんはどのように感じていますか？「なんてひどいことをするのだろう」と悲しい気持ちになって胸が痛んだり、わが子に虐待をする理不尽な親に怒りを感じたりする人もいるでしょう。親が逮捕され、子どもが保護されたと聞き、「殺されずにすんでよかった」とほっとする人もいるかもしれません。もちろん子どもが虐待で命を落とすことはあってはならないですが、虐待を受けても児童相談所などに保護されたら、その子どもは安心・安全な人生が待っているのでしょうか。実際には、保護された子どものその後の人生も、苦しく過酷なものになることが多いという状況を知っていますか。

この本には、保護された子どもたちのその後何かが待っているのかが、5 人の子どもの事例をもとに書かれています。虐待を受けた子どもが、どのようなトラウマや後遺症に悩まされるのか、子どもが適切な環境で心身とも健康に育つことがどれほど大切か、この本は教えてくれます。保育に興味のある学生さんだけでなく、将来母親になるであろうすべての学生さんにぜひとも読んでもらいたい 1 冊です。

*「こころ」は だれにも見えないけれど  
「こころづかい」は見える  
「思い」は 見えないけれど  
「思いやり」は だれにも見える*

12 年前、東日本大震災があったときに、TV の AC ジャパンの広告で繰り返し流されたフレーズです。その語りに車中で妊婦に席を譲る女性を見かけ、自ら街でお年寄りの手を引く高校生の光景が描かれていました。大惨事に遭遇しながら節度を失わず、悲しみに堪えて譲り合う被災者の態度は、今でも、私の脳裏にくっきりと描かれています。

このフレーズは、詩人・宮澤章二氏の『行為の意味：青春前期のきみたちへ』の詩集から引用されたものでした。以来、毎年3月になると、私はこのフレーズを思い出し、そして、詩集『行為の意味』のページを開き、一つ一つの詩を拝読します。時代が変わっても、「思い」や「こころ」は、今の時代に最も大切なものであると思います。ぜひ、この本を手にとって、書かれている詩を読み、詩に託された『言魂』を感じていただきたいと思います。

中垣 明美先生

やなせたかし明日をひらく言葉

やなせたかし [著]/PHP 研究所編

PHP 研究所

189 ページ

請求記号：S7/8644

「アンパンマン」を知っていますか？この本は、アンパンマンの作者であり、「てのひらを太陽に」の歌の作詞者でもあるやなせたかしさんの著作の中から、言葉とその言葉の解説が見開き 2 ページでかかれています。

愛情や、希望や喜び、正義とは、善と悪とは、子どもとはなどに対するやなせさんの見方、考え方がよく伝わると思います。アンパンマンは、正義のために、飢えた人のところまで飛んで行って、自分の顔をちぎって食べさせる。するとアンパンマンはエネルギーを失って失速する。こんな一見カッコ悪い正義の味方がなぜ生まれたか？なぜ子どもたちはアンパンマンが好きなのか？そういった問の答えだけでなく、皆さんが生きていくうえでの道標（みちしるべ）にもなるかもしれない 1 冊です。

## 長谷 範子先生

### むこう岸

安田夏菜  
講談社  
253 ページ  
請求記号：S9/22583

## 河合 玲子先生

### 92歳の現役保育士が伝えたい 親子で幸せになる子育て

大川繁子  
実務教育出版  
206 ページ  
請求記号：S3/20631

『むこう岸』では、有名進学校の授業についていけず、公立中学校に転校した少年と、父を交通事故で亡くし、母と妹と三人、生活保護を受けて暮らす少女が出会います。育ってきた環境や経験が全く異なる二人が、互いに批判的な思い、理解できないという思いを抱えながらも、共に過ごす時間、経験を重ねる中で、「生き抜く」ことを頑張ろうとする物語です。

日本においても、異文化で生活してきた人々が増え、また人々の多様性も拡大しているといえます。多様な人々が共生していくためには、他者を理解することが求められますが、それは容易なことではありません。むしろ、他者を理解することは困難であることを自覚し、だからこそ共に過ごし、理解しようとするのが大切であると思います。

みなさんは将来、親として、就学前の保育・教育者として、次世代の子どもたちの発達を援助していかなければなりません。すべての子どもたちが自己に自信を持ち、思春期を超えて生き抜く、その力を育むために必要な他者理解の在り様を、この物語から感じていただきたいと思います。

著者の大川繁子さんは、1927年（昭和2年）9月1日に東京で生まれました。1962年に保育士となり、95歳の現在でも現役の保育士さんとして働いています。

本学の履修科目を修得することで保育士と幼稚園二種免状を取得することができますが、保育士の資格は国家資格なので、大川さんのように一生続けられることができる仕事なのです。保育の仕事は大変ですが、その成長を見守ることができるのは大きな喜びです。だからこそ、大川さんもこの歳になっても続けることができているのだと思います。

この著書を読むことで、子どものことや保育の仕事について理解を深めていただければと思います。何より、大々先輩からの沢山のメッセージが随所に書かれているので、就職後、保育で悩んだりした時にも参考になると思います。是非、読んでみてくださいね。

## 神崎 奈奈先生

### 学びとは何か： 「探求人」になるために

今井むつみ  
岩波書店  
230 ページ  
請求記号：080/132/1596

みなさんはこれから保育者となるために「学び」、保育者として子どもの「学び」を援助していくことになります。では、「学び」とは何なのでしょう。どのようにしたら、うまく「学べる」のでしょうか。どのような状態をうまく「学んだ」というのでしょうか。また、「よい学び」とはどのようなものなのでしょうか。

この本には、人間の記憶や思考等について科学的に解明しようとする認知心理学・認知科学の立場から、「よい学び（＝学習）」とは何かについて考える「ヒント」が書かれています。なぜ「答え」ではなく「ヒント」なのかは読んでみたらわかります。この本では、子どもがどのように言葉を学び、身の回りの世界を理解していくのか、という誰でも経験してきたけれどもどのように学んできたのかあまり意識してこなかったことから始まり、プロの将棋棋士やプロ野球選手のようなその道の達人や一流と呼ばれる人たちがどのように自分の専門分野を学んできたのか、等について解説されています。最終章は、子どもを自分で道を切り開くことができる〈探求人〉に育てるための周囲の大人のかかわり方について述べられています。

自分のこれまでの「学び」を振り返り、自分自身のこれからの「学び」と子どもの「学び」について考えていくために、いま読んで欲しい一冊です。



## 平澤 節子先生

### 美しい日本語

金田一春彦  
KADOKAWA  
253 ページ  
請求記号：S8/15463

みなさんは、普段何気なく使っている自分自身の言葉について考えてみたことはありますか。この本は、日本語研究の第一人者金田一春彦によって書かれたものです。非常に読みやすく、時にユーモアを交えて語りかけてくる一冊です。その内容は、敬語の使い方をはじめ周囲を引きつける話し方、人の心を動かす言葉の使い方、相手に伝える順番の法則、漢字はなぜ必要かなど示唆に富んでいます。本著のなかで『会話するという事は、相手への配慮をいつも忘れずにいること』と記されています。ここに、これからの大学生活や実習へのヒントがあるように思います。みなさんは近い将来「先生」と呼ばれる職業に就く方たちです。皆さんが発する言葉が、皆さん自身を映し出す鏡となります。この本をとおして、日常の言葉を見直すきっかけになればと思います。

## 藤巻 裕昌先生

### ラグビー日本代表を変えた 「心の鍛え方」

荒木香織  
講談社  
184 ページ  
請求記号：S7/12349

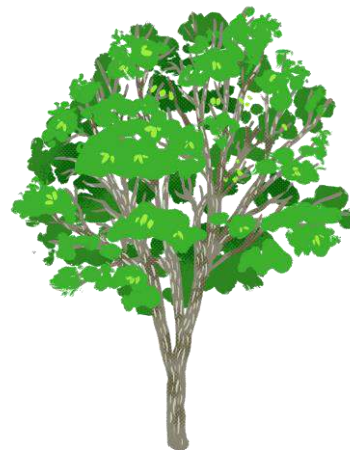
本書は、スタッフの一員としてメンタル面のサポートに従事された筆者が書き下ろした新書です。日本のスポーツ界においては、トレーニングの方法やバイオメカニクス、アスレティックトレーナーの分野は発展しながらも、一方で心理学においては 40 年以上が経過しながらも情報発信が不十分により一歩で遅れていると紹介されています。しかし、メンタル面のサポートを取り組んだことにより、今までにない結果、マスメディアを動かした日本ラグビー界の取り組みは色々な分野で参考にすることができ、モデルになると考えます。具体的な内容は著書に紹介されています。また、一般的に「アスリートはもともとメンタルが強いのでは!？」とそう思っている方も多いと思います。でも決してそんなことはありません。成功、失敗の連続のなかで思考を繰り返し、練習を重ねて本番に臨むプロセスを重要と考え、結果から新たな課題を設定していくのがアスリートです。問題解決の方法として著書に紹介されている 3R (リアクト《気づき》、リラックス、リセット) はあらゆる場面で役に立つスキルの 1 つです。それ以外にも自らの経験に合わせて考えられる方法がたくさん紹介されています。

## 松田 ほなみ先生

### 中・高校生のための現代美術入門 〇△□の美しさって何?

本江邦夫  
平凡社  
208 ページ  
請求記号：723/427

本書は、印象派以降急速に展開された現代美術について描かれた本である。現代美術は、とかく難しいと思われるがちで、一部の愛好家のものと思われているところがある。印象派が登場して以降、芸術家たちの冒険ははじまった。20 世紀に抽象画が誕生し、冒険は未知なる旅へと進んだ。21 世紀に入った現代、その冒険の延長線上にあるといえる。現在目にするデザイン、色、形は、冒険の成果といえよう。そのエッセンスは、私達の生活を彩っている。保育の現場で行われている「描くこと」もずいぶんと影響を受けていると考える。現代美術は、多岐にわたっているため説明することは、難しい。難しいことを分かり易く説明することは、ほんとうに優れた能力だと思う。著者の本江氏は、東京大学で近、現代史を学ばれ、同大学大学院で西洋美術史を修了後、東京近代美術館に勤務された経歴の持ち主である。中・高校生にもわかるようにやさしく解説しているが、中身は本筋を得ている。名女大生にお勧めしたい一冊である。



## 山本 麻美先生

### おおきなおおきなおいも

赤羽末吉さく・え  
福音館書店  
88 ページ  
請求記号：E/1777

「おおきなおおきなおいも」とは、絵本に登場する園児たちが描いた「いも」のことです。

子どもに読み聞かせをする時は、数ページにわたって描かれている大きなおいもの大きさや、絵本の園児たちの想像の世界の面白さを一緒に楽しめます。

しかし、この本の面白さは、子どもと読む絵本としてだけではありません。

まず、私の専門の造形表現という視点から読むと、子どもが想像し、表し、共有し、創造するという様々な活動が混在している子どもの世界がとても良く表されているな、感心します。また、保育という観点からは、子どもが遊びきる活動を支える保育園の先生の役割について考えさせてくれます。

このように、この本は視点を変えると新しい面白さを発見できる本なのです。

赤羽末吉さんの絵も最高です。黒とおいも色の2色しか使用されていませんが、私たちをファンタジーの世界に引き込む魅力を持っています。

みなさんもぜひ、先生たちがどのように子どもと向き合っているかなどを想像しながら、「おおきなおおきなおいも」の世界を楽しんでみて下さい。



## 安藤 恭子先生

### 塞王の楯

今村翔吾  
集英社  
552 ページ  
請求記号：913.6/760

みなさんが志す保育者には、子どもの笑顔を輝かせるために、裏方となって子どもを支える場面が多くあります。この本は戦国時代を描いたものですが、花形の名だたる武将ではなく、城を守る石垣を構築する職人たちが主人公です。

「戦国の世から戦をなくしたい・・・」

守る石垣造りの「穴太衆」と攻める鉄砲造りの「国友衆」の間に繰り広げられる宿命の対決を軸に物語は進みます。500ページを超える大作なので、手に取るにはやや躊躇してしまうかもしれませんが、しかし、重苦しい感じの読み口ではなく、爽やかな好青年を中心に、文字通り、映像が浮かんでくるような、息遣いが聞こえてくるような、そんな時代小説です。主人公が築き上げた石垣を仕掛けにする戦の場面では、私も手に汗を握りながら夢中になって読みました。それだけでなく、職人たちの仕事にかかる情熱や誇り、仲間との熱い友情や葛藤、恋心、子どもに対する温かい視線には、みなさんも共感できる部分が多くあるのではないのでしょうか。

またこの本は、「平和な世の中を作るために必要なものは何なのか」、「本当の意味での人の〈強さ〉とは何なのか」というような、時代を超えた問いを投げかけてくるでしょう。

みなさんにとって、楽しく読み進められると同時に、一度立ち止まって考える機会をくれる、そんな一冊になってほしいと思い、この本をお勧めします。

## 前田 舞子先生

### 教えから学びへ：教育にとって 一番大切なこと

汐見稔幸

河出書房新社

250 ページ

請求記号：S3/21509

保育者を目指す皆さん、「教える」とはどのような行為なのでしょう。また、「教育学」や「保育」とは、どのような学問なのでしょう。本書は、「教育学」という学問に初めて接する人におすすめできる本です。もちろん、既に勉強している人にとっても、多くの示唆を得ることができる1冊です。

様々なトピックがそれぞれ短くまとめられていて読みやすく、気軽に読むことができます。

そうであるにも拘わらず、さすがは第一線で活躍されている汐見先生、すべての話が学問の本質へと繋がっていきます。現在の公教育に対する問題点を明治時代から遡って丁寧に解説してくれていますので、保育・教育関係者だけでなく、子育てにも役立つと思います。汐見先生曰く、「学校の勉強ができるできないという評価から離れ、『この子はどんな人生を送るのかな』という視点から子どもを見ることができれば、子どもたちへの接し方も自ずと変わっていくはず」だそうです。

保育者として、子どもたちとどのように関わり導いていくのか、じっくり向き合ってみませんか？

## 島澤 ゆい先生

### 迷路の外には何がある?: 『チーズはどこへ消えた?』 その後の物語

スペンサー・ジョンソン著；

門田美鈴訳

扶桑社

250 ページ

請求記号：S1/18937

私がこの本を読んだ最初の感想は、“何かやらなきゃ”でした。

この本は、1998年に刊行された『チーズはどこへ消えた?』の続編となります。著者は、アメリカの心理学者です。ビジネス書として定評のある2冊ですが、心理学や哲学の観点からもこの本を読み解くことができます。

みなさんは、「頑張っているのに報われない」「自分はダメなやつだ」とネガティブに感じたり、「自分は間違っていないのに」と意固地になったりして、なかなか次の一歩が踏み出せないことはありませんか。そんなとき、この本を手にとってみてください。みなさんの新しい一歩が、きっと見えてくると思います。

“心理学”と聞くとなんだか難しそうに感じられるかもしれませんが、自分を見つめなおしたり、自分自身の心について考えてみたりすることを、この本を通して経験してみてください。



# 学科関連おすすめブックリスト

書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
<a href="#">ケアの本質：生きることの意味</a>	ミルトン・メイヤロフ 著/田村真, 向野宣 之訳	ゆみる出版	236	146/225
<a href="#">カウンセリングの実際問題</a>	河合隼雄	誠信書房	281	146/688
<a href="#">ジェネラリストとしての心理臨床家：クライアントと大切な事実をどう分かち合うか</a>	村瀬嘉代子	金剛出版	247	146/722
<a href="#">私たちはどう学んでいるのか：創発から見る認知の変化</a>	鈴木宏昭	筑摩書房	216	購入準備中
<a href="#">はじめようピアノで音楽療法：福祉現場の最前線から</a>	猪之良高明	ショパン	214	S1/6478
<a href="#">留岡幸助の生涯：福祉の国を創った男 1864-1934</a>	藤井常文	法政出版	322	369/2064
<a href="#">子ども虐待と貧困：「忘れられた子ども」のいない社会をめざして</a>	松本伊智朗編著, 清水克之 [他] 著	明石書店	256	369.4/316
<a href="#">子育て支援の経済学</a>	山口慎太郎	日本評論社	260	369.4/726
<a href="#">乳幼児の発達臨床心理学：理論と現場をつなぐ</a>	菊野春雄	北大路書房	231	371.44/192
<a href="#">「お絵かき」の想像力：子どもの心と豊かな世界</a>	皆本二三江	春秋社	236	371.44/201
<a href="#">子どもを「人間としてみる」ということ：子どもとともにある保育の原点</a>	佐伯胖	ミネルヴァ書房	293	376.1/1152
<a href="#">保育の場で子どもの心をどのように育むのか：「接面」での心の動きをエピソードに綴る</a>	鯨岡峻	ミネルヴァ書房	303	376.1/1196
<a href="#">子どもの心を動かすことばかけ：現場の声から生まれた!</a>	白井三根子	ナツメ社	159	376.1/1234
<a href="#">子どもの心を動かす指導法：現場の声から生まれた!</a>	白井三根子	ナツメ社	159	376.1/1235
<a href="#">思いをつなぐ保育の環境構成 0・1歳児クラス編, 2・3歳児クラス編, 4・5歳児クラス編</a>	宮里暁美編著/文京 区立お茶の水女子 大学こども園著	中央法規出版	1巻:139 2巻:135 3巻:141	376.1/1434/1,2,3
<a href="#">ことばの発達の謎を解く</a>	今井むつみ	筑摩書房	239	376.11/341
<a href="#">保育と幼児期の運動あそび</a>	岩崎洋子編; 吉田 伊津美, 朴淳香, 鈴木康弘	萌文書林	222	376.157/177
<a href="#">手あそび歌あそび：DVDのお手本つき：やさしいピアノ伴奏譜つき</a>	小泉八重子	新星出版社	175	376.157/515

書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
<a href="#">遊びこそ豊かな学び：乳幼児期に育つ感動する心と、考え・表現する力</a>	今井和子編著 ；福井市公私立保育園保育研究会 [編]	ひとなる書房	230	376.157/788
<a href="#">子どもの発達とあそびの指導</a>	勅使千鶴	ひとなる書房	235	376.157/803
<a href="#">0～5歳児のたのしい運動あそび：乳幼児の発達課題に対応した種目別・年齢別指導</a>	黒井信隆, 山本秀人	いかだ社	151	376.157/804
<a href="#">The☆運動あそび：シンプルでめっちゃ楽しい運動あそびベストセレクション!</a>	瀬戸口清文, 日本遊育研究所	メイト	111	376.157/808
<a href="#">わらべうたあそび120：0～5歳児の楽しくふれあう!</a>	阿部直美	ナツメ社	159	376.157/866
<a href="#">幼児造形の基礎：乳幼児の造形表現と造形教材</a>	樋口 一成	萌文書林	264	376.157/969
<a href="#">「音」からひろがる子どもの世界</a>	吉永早苗	ぎょうせい	127	376.157/974
<a href="#">発達障害のある子と家族のためのサポートBOOK 幼児編</a>	岡田俊	ナツメ社	191	378/761/1
<a href="#">発達が気になる子の個別の指導計画</a>	学研プラス	田中康雄 酒井幸子	128	378/836
<a href="#">視覚シンボルで楽々コミュニケーション：障害者の暮らしに役立つシンボル1000</a>	ドロップレット・プロジェクト	エンパワメント研究所	119	378/1046
<a href="#">インクルーシブ保育における園児の社会的相互作用と保育者の役割：障がいのある子どもとない子どもの友だちづくり</a>	小山望	福村出版	173	378/1052
<a href="#">実習に役立つパネルシアターハンドブック</a>	古宇田亮順	萌文書林	121	S3/3059
<a href="#">子ども虐待</a>	西澤哲	講談社	241	S3/4391
<a href="#">すぐ覚えられるわらべうたあそび：CD付き</a>	木村はるみ	成美堂出版	143	S3/5916
<a href="#">保育士は体育会系！</a>	河原ちよつと	サンマーク出版	190	S3/10827
<a href="#">手あそび百科：「いつ」「どのように」使えるかがわかる!!：ピアノ伴奏つき：場面・年齢に応じて遊べる充実122曲</a>	植田光子	ひかりのくに	223	S3/13082
<a href="#">発達障害のある子が楽しめるあんしんあそび：1～6歳児の興味・関心にあわせて大人といっしょに</a>	木村常雄 佐々木正美	すばる舎	144	S3/15465
<a href="#">話すチカラをつくる本：この一冊で想いが通じる!</a>	山田ズーニー	三笠書房	122	S3/17140

書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
<a href="#">ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー</a>	ブレイディみかこ	新潮社	252	S3/17927
<a href="#">あの日のオルガン：疎開保育園物語</a>	久保つぎこ	朝日新聞出版	293	S3/20359
<a href="#">新人保育者物語さくら：保育の仕事がマンガでわかる</a>	村上かつら著, 百瀬ユカリ監修	小学館	143	S3/21477
<a href="#">教えから学びへ：教育にとって一番大切なこと</a>	汐見稔幸	河出書房新社	250	S3/21509
<a href="#">幼児のイメージ力を育てる：お話とごっこ遊び</a>	神谷栄司	三学出版	101	S3/21533
<a href="#">地図から消される街：3.11後の「言っ てはいけない真実」</a>	青木美希	講談社	284	S3/21535
<a href="#">あふれでたのはやさしさだった：奈良 少年刑務所絵本と詩の教室</a>	寮美千子	西日本出版社	223	S3/22664
<a href="#">しぜんあそび</a>	山下久美監修	フレーベル館	128	407/121
<a href="#">ちいさい言語学者の冒険：子どもに学 ぶことばの秘密</a>	広瀬友紀	岩波書店	109	408/38/259
<a href="#">楽しく遊ぶ学ぶげんきの図鑑</a>	中村裕	小学館	191	498.3/85
<a href="#">センス・オブ・ワンダー</a>	レイチェル・カーソ ン,著 上遠恵子訳	新潮社	60	S4/12555
<a href="#">子どもの脳を傷つける親たち</a>	友田明美	NHK出版	221	S4/14398
<a href="#">子育てで一番大切なこと：愛着形成と 発達障害</a>	杉山登志郎	講談社	242	S4/16589
<a href="#">ひとりでできるよ!図鑑：学研の図鑑for Kids</a>	横山洋子	学研教育出版	191	590/588
<a href="#">よくわかる楽典</a>	木下牧子	なつめ社	207	761 /179
<a href="#">文章力の基本：簡単だけど、だれも教 えてくれない77のテクニック</a>	阿部紘久	日本実業出版 社	206	S8/6600
<a href="#">文章力を伸ばす：書くことが、これでと ても楽になる81のポイント</a>	阿部紘久	日本実業出版 社	213	S8/16271
<a href="#">倉橋惣三物語：上皇さまの教育係</a>	倉橋耀子, 倉橋麻生	講談社	317	913.6/763
<a href="#">読めなくても、書けなくても、勉強した い：ディスレクシアのオレなりの読み 書き</a>	井上智 井上賞子	ぶどう社	175	916/86
<a href="#">小説あの日のオルガン</a>	五十嵐 佳子	朝日新聞出版	279	S9/20490



書名	著者名	出版社	ページ数	請求記号
<a href="#">笑顔が守った命：津波から150人の子どもを救った保育士たちの実話</a>	あいほらひろゆき著； ちゅうがんじたかむ イラスト	サニーサイド	1冊(ページ 付なし)	SE/21478